

2019年度事業報告

(第8期 2019年4月1日～2020年3月31日)

公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク

公益目的事業1 地域振興支援事業

地方創生が大きく謳われる中、地方都市の中心市街地の空洞化やますます加速する少子高齢化や人口減少といった地方の衰退が大きな問題となっている。

一方で、地域経済を支える産業界も、社会環境、経済環境が目まぐるしく変化するなか、国内消費の頭打ちのなかで、新たな製品開発やサービスを模索している。また人材獲得や人材育成に問題を抱えている。

このような地域企業を取り巻く厳しい変化にも柔軟に対応できる企業の人材育成や企業の経営革新を進めることがますます重要な要件となっている。さらに、地域振興のカギを握るものは、地域の次世代を担う人材育成も重要な要件である。

そこで当財団では、産学官連携の仕組みを活用して、以下の3つの事業を行う。

「1 地域産業人材育成」：自らの考えで行動できる企業経営者、管理者、社員を育成し、地域企業の経営強化を支える人材育成の支援を行い、企業の経営革新を図る。

「2 インキュベーション支援」：地域産業の強化を目的として、新たな創業を活性化し、また、既存企業の経営強化の支援を行う。これを促進するために、新たな卵から羽化させ、ヒナへと育てる為の仕組み（インキュベーション）を進めて、新規事業を創出させ、地域振興を図る。

「3 地域連携促進支援」：地域の様々な課題解決に向け、地域の次世代人材育成を行うことで地域の活性化を図る。

これらの諸事業を地域振興支援事業としてまとめ、地域振興を通じ、地域活性化を図る。また、この活動についての成果については、ホームページなどにより、企業や地域住民に広く公表する。

1 地域産業人材育成

近年、企業を取り巻く、社会環境、経済環境が目まぐるしく動くなか、企業の経営者、管理者は企業存続のための基本的戦略を立て、企業運営をしていかなければならないとともに、厳しい変化にも柔軟に対応できる社員を育てあげていくことがますます重要となっている。

経営者は厳しい変化にも柔軟に対応できる経営方法や、より業績の拡大を図るためのマネジメントなど、より高次の能力を身に付けることがますます重要となっている。

また、中堅社員は、環境変化が激しい中で、企業のコア人材としても大きな期待を持たれており、部下の指導・育成やリーダーシップを身に付けることはもちろんのこと、さらには、成果主義や能力主義、目標管理の導入など社員のやる気を最大限に奮起させ、会社目標を達成するための評価制度の導入や自社のムダを見つけ生産現場からの改善を進める現場改善手法など、専門的な知識の習得も必要とされている。

しかし、企業単独での人材育成にも限界があり、さらに公的機関等が人材育成を行う機会は埼玉県南部と比較し、北部地域では非常に少なく、また、時間と費用、人材を割いて県南部の研修へ派遣することも難しく、県内での地域格差があるのが現状である。

当財団は、当事業を実施することで企業を取り巻く経営環境が激変する中、環境変化をチャンスと捉え、先を見据え、自らの考えで行動できる企業経営者、管理者、社員を育成し、地域企業の発展に寄与することを目的とする。

(1) 企業経営者・管理者研修

管理監督者を対象とした研修会を開催した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1講座、1セミナーが中止となった。

日 程	内容・講師	受講者数
5月28日(火) 29日(水)	新任管理監督者研修 (有) ミッション 代表取締役 田中 久男 氏	31名

(2) 中堅社員・専門研修

中堅社員及び実務担当者を対象とした研修会を開催した。

日 程	内容・講師	受講者数
4月9日(火)	新入社員合同研修 (株) アビライト 代表取締役 安部 博枝 氏	12名
6月18日(火)	営業基礎研修 (株) スタジオ02 代表取締役 大関 暁夫 氏	20名
7月9日(火)	ISO9001 基礎研修 ワブコジャパン(株) 菅生 雅臣 氏	14名
9月10日(火)	新入社員フォローアップ研修 (株) アビライト 代表取締役 安部 博枝 氏	21名
10月15日(火)	中堅女性社員キャリアアップ研修 (株) キャラウイット 代表取締役 上岡 実弥子 氏	34名
11月12日(火)	クレーム対応研修 (株) マネジメントサポート 本田 和恵 氏	36名
2月18日(火)	売上UPのためのマーケティング研修 合同会社タツノ経営デザイン代表 辰野 博一 氏	30名
3月10日(火) 11日(水)	幹部候補育成研修 人材育成フォレスト 代表 松岡 直人 氏	※中止

(3) セミナー

企業の人手不足などを踏まえ外国人材活用セミナーを予定した。

日 程	内容・講師	受講者数
2月26日(水)	外国人材活用セミナー R&A Consulting(株)代表取締役 佐藤 僚祐 氏	※中止



2 インキュベーション支援

早稲田大学リサーチイノベーションセンターや本庄市をはじめとした自治体、本庄商工会議所などの商工団体、日本政策金融公庫や埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫など金融機関と協働し、地域の創業支援計画をもとに、創業スクールやシェアードオフィスの提供、创业者の交流会を実施し、新たな産業創出を促進する。

さらに、既存企業の新製品等の開発、技術開発を支援し、地域企業の経営革新を進め、産業振興を図る。

(1) 創業スクール

本庄地域の創業支援計画をもとに、早稲田大学リサーチイノベーションセンターの中小企業診断士をはじめ、税理士、日本政策金融公庫職員及び当創業スクール修了生などを講師として招き、「第5回本庄早稲田塾ゼロから始める創業スクール」を開催した。

1) 2019年度の実績

中小企業庁の創業支援事業者補助金の採択を受けて実施した。

講義回数：全5回（2019年10月5日～11月9日）

受講生：9名（8名修了）

補助額：846,222円

メイン講師：早稲田大学リサーチイノベーションセンター
シニアコンサルタント 辰野博一氏

日 程	内 容	担当講師（メイン講師以外）
10月5日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプランの作成準備 ・創業のビジョンとビジネスモデル ・地域の創業者による体験談とディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ・アトリエ DEMETAN 代表 内原 絵美氏 ・すみれデザイン 代表 山路 晴巳氏 ・本庄パンカフェ「麦と豆」 宇田 亨氏
10月19日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・創業お役立ち情報、地域の起業支援 ・マーケティングの基礎知識 ・資金計画ワーク ・ビジネスアイデアショートプレゼン 	<ul style="list-style-type: none"> ・Step up consulting (株) 代表取締役 山内 正明氏 ・当財団 清水マネージャー
10月26日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達と公的支援制度の活用 ・起業手続き ・プレゼンテーション ・ビジネスプラン作成方法と事例紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株) 日本政策金融公庫 北関東信越創業支援センター所長 大和 傑氏
11月2日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材計画・採用・育成 ・ビジネスプラン作成ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学リサーチイノベーションセンター シニアコンサルタント 工藤 元氏
11月9日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・税務・会計の基礎知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・税理士法人あのん

	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプランのプレゼンテーション実践 ・修了式・懇親会 	<p>税理士 本間 実 氏 <審査員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学リサーチイノベーションセンター シニアコンサルタント 工藤 元 氏 ・(株)日本政策金融公庫 熊谷支店 支店長 長田 和彦 氏 ・本庄商工会議所 専務理事 田中 一成 氏 ・早稲田大学 池田 泉 氏 ・当財団 齋藤事務局長
--	--	--

※台風 19 号の影響により、日程を一部組み替えて実施した。



2) 創業スクールOB会

日 程	内 容	参加者
10月5日(土)	創業スクール第1日目の講義「地域の創業者による体験談」を活用し、講師や受講生なども交えた懇親会を開催	・2015～2018年度修了生、2019年度受講生、当財団職員計21名
11月9日(土)	創業スクール第5日ビジネスプラン発表会・修了式を兼ねた懇親会を開催	・2015～2018年度修了生、2019年度受講生、本庄市、埼玉県、金融機関等支援機関、当財団職員計23名
11月30日(土)	フォローアップセミナー「小さく始める」、「気づきをビジネスにする」起業事例の紹介、今後の創業に向けた相談などを開催	・早稲田大学リサーチイノベーションセンター シニアコンサルタント 辰野 博一 氏 2019年度修了生4名

(2) 本庄早稲田ビジネスプラットフォーム

資金力の弱い創業者や創業段階でのスタートアップ、企業の営業拠点などに対してシェアードオフィスの提供や経営相談、創業者間での情報交換・交流などを通じて、創業支援を行った。

会員数：28社（名） ※3月末現在

料 金：月額1万円（税別）

内 容：パーティションで区切られた机・椅子8セット、インターネット環境整備、メールボックス、ロッカー、共用会議室、駐車場の利用など

会 員：中小企業診断士やFPなどの士業、ITサービス業の方等



(3) 交流会・セミナー

本庄早稲田ビジネスプラットフォーム会員や、創業スクールの受講生および卒業者に対して、事業に役立つセミナーや交流会を開催した。

1) IOC 本庄早稲田入居者交流会

早稲田大学本庄プロジェクト推進室と共催し、IOC 本庄早稲田入居企業と本庄早稲田ビジネスプラットフォーム会員を対象とした「IOC 本庄早稲田入居者交流会」を早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターで開催した。

開催日：10月10日（木）15:30～17:00

参加者：29名（会場：2F 環境情報ギャラリー）



2) 埼玉北部地域技術交流会

埼玉県産業技術総合センター北部研究所が主催する「第16回埼玉北部地域技術交流会」を早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターで開催した。当財団が同実

行委員会に新たに加入し開催が実現したもので、当日は、多くのものづくり分野の関係企業や支援機関が多数集まり、講演会や展示交流会が行われた。IOC 本庄早稲田入居者の参加機会の提供にもつながった。

開催日：2月13日（木）11:30～18:50

講演：野口満氏（埼玉県産業振興公社 企業間連携支援コーディネータ）他

テーマ：「中小企業イノベーションとは」

展示：29 機関（会場：2F 環境情報ギャラリー）

来場者：105 名



（4）地域企業支援

これまで行ってきた「本庄早稲田オープンイノベーションネットワーク」の活動成果を継承、活用して、地域企業の産業競争力を強化し、経営革新を進めるため、企業の製品開発や技術開発の要望に対して、早稲田大学をはじめとした研究機関や自治体関係機関と協力し支援を行った。

また、一方で埼玉県北部地域の商工団体や工業会「児玉工業団地」、熊谷市「ものづくり熊谷」、秩父市地場産センター「ファインド秩父」などのネットワークと連携し、地域産業の振興を図った。さらに、地域企業に対して、国の補助金等の情報発信を行った。

1) 公的外部資金の活用

経済産業省 平成 31 年度地域中核企業ローカルイノベーション支援事業（不採択）

2) 企業支援件数

総支援件数：54 件（支援企業：45 社）

（主な内訳）

- ・補助金獲得支援：8 件
 - 令和元年度ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金 7 件
 - 平成 31 年度地域ものづくりブランド力強化支援事業補助金 1 件
- ・販路開拓支援：2 件
 - 東和新生会ビジネス交流会への出展支援
- ・経営計画策定等支援：4 件
 - 経営革新計画 2 件 <取得済み>
 - 地域未来牽引企業 推薦 1 件 <審査中>
 - 第 13 回埼玉保己一賞推薦 1 件 <貢献受賞>



3 地域連携促進支援

本庄市、埼玉県等の関係機関や学校、地域企業と連携し、地域の課題解決に向けた活動を支援することで地域の次世代を担う人材育成を行い、地域の活性化を図る。

(1) 環境保全活動支援

地域の小学生や保護者を対象とした環境保全活動を通じて、地域の人材育成を行った。

1) 本庄市立藤田小学校と早稲田大学本庄高等学院との協働河川調査

回数：年2回（春・秋）

場所：小山川、元小山川

参加者数：5年生27名、6年生19名、早稲田大学本庄高等学院河川研究班13名

講師、スタッフ等約30名

協力：当財団、埼玉県本庄県土整備事務所、埼玉県魚類研究会、

本庄市、NPO法人 川・まち・人プロデューサーズ

日程	内容
5月15日(水)	河川調査事前授業
5月29日(水)	河川調査
6月5日(水)	河川調査事後授業
11月6日(水)	河川調査
11月13日(水)	河川調査事後授業



2) 「川のシンポジウム2020～本庄の川を取り巻く環境について～」(中止)

本庄地域で川の調査を行っている小学生・高校生の活動発表、専門家の講義等を通して、環境保全意識の啓発を図るシンポジウムを3月14日(土)に開催する予定準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

3) 里川保全活動「川の生きものみつけ隊」開催

地域の小学生とその保護者が、身近な環境や生物について学ぶことを目的とした生物調査・清掃活動を実施した。

開催日：10月5日(土)

場所：男堀川(本庄早稲田駅周辺)

参加者：地域住民親子45名、スタッフ24名

共催：(株)カインズ、埼玉ひびきの農業協同組合、賛光精機(株)、

JR東日本本庄早稲田駅、早稲田の杜まちづくり活動勉強会

埼玉県本庄県土整備事務所

協力：本庄市、埼玉魚類研究会



(2) 国際理解促進支援

本庄市などの関係機関や、地域の小学校の要望に基づき、早稲田大学などと連携し、留学生を講師として、訪問授業を行い、国際理解・異文化理解を深めた。

1) 国際理解学習の開催（本庄市内 11 校 参加児童数 655 名）

日 程	参加留学生	対 象
6月28日(金)	早稲田大学1名(アメリカ)	本庄市立中央小学校 5年生:89名
7月5日(金)	早稲田大学1名(アメリカ)	本庄市立本庄南小学校 6年生:76名
10月24日(木)	東京福祉大学1名(ブルガリア)	本庄市立児玉小学校 5年生:75名
11月7日(木)	早稲田大学大学院2名(中国)	本庄市立秋平小学校 6年生:31名
11月27日(水)	早稲田大学2名(韓国)	本庄市立藤田小学校 6年生:19名
11月28日(木)	東京福祉大学1名(ブルガリア)	本庄市立旭小学校 6年生:41名
12月4日(水)	早稲田大学2名(中国、アメリカ)	本庄市立北泉小学校 6年生:61名
12月5日(木)	早稲田大学1名(アメリカ) 東京福祉大学1名(ブルガリア)	本庄市立本庄東小学校 6年生:118名
12月10日(火)	早稲田大学大学院1名(中国) 早稲田大学1名(アメリカ)	本庄市立仁手小学校 6年生:7名
12月13日(金)	早稲田大学2名(中国、アメリカ)	本庄市立本庄西小学校 6年生:49名
12月17日(火)	早稲田大学3名(ベトナム、ロシア、アメリカ)	本庄市立共和小学校 1年生:31名 2年生:27名 6年生:31名



2) グローバルキャンプ in かみかわ

神川町内の小学生（4～6年生）を対象にグローバル人材への成長を促すために町内で疑似留学を体験する「グローバルキャンプ in かみかわ」の業務を受託・実施した。

受託費：499,950 円

日 程	内 容	参加者数
8月1日(木)	事前学習：ネームカードを作って自己紹介を練習しよう、英語で作る謎解きの謎?!等	小学生：32名
8月9日(金)	交流会：挨拶・留学生自己紹介、アイスブレイクゲームで仲良くなろう、謎解きゲーム等 留学生：早稲田大学5名（メキシコ、台湾・アメリカ、韓国、ネパール、台湾） 早稲田大学本庄高等学院生：5名	小学生：34名



4 評議員会、理事会、事務局等

(1) 評議員会

2019年度第1回定時評議員会：6月24日（月）

2019年度第2回評議員会：10月16日（水）（みなし決議）

(2) 理事会

2019年度第1回理事会：5月30日（木）

2019年度第2回理事会：6月24日（月）（みなし決議）

2019年度第3回理事会：10月1日（火）（みなし決議）

2019年度第4回理事会：3月19日（木）（みなし決議）

(3) 役員、評議員の変更

○評議員退任

6月24日付

渡邊 充 木村利雄 東海林佑太郎

○評議員就任

6月24日付

加藤和男 阿部泰久 堀越智文

○理事退任

6月24日付

石川英寛 天田 裕

○理事就任

6月24日付

新里英男 三角哲也

○監事退任

6月24日付

若林 圭

○監事就任

6月24日付

森久保晶彦

(4) 事務局

2019年3月31日現在		2020年3月31日現在	
駐在職員	1名	駐在職員	1名
正職員	5名	正職員	5名
嘱託職員	2名	嘱託職員	1名
パート職員	1名	パート職員	1名
合 計	9名	合 計	8名